

大阪労連女性部ニュース NO5

2010年11月18日

発行 〒530-0034 大阪市北区錦町2-1 国労会館 大阪労連女性部

TEL 06-6353-6421 FAX 06-6353-6420

「大貧困社会を変えよう、変えるチャンス！」

第1回単産・地域代表者会議

11月17日、女性部第1回単産・地域代表者会議を開きました。

恒例のミニ学習は、元日本自治労連で公務の非正規労働問題を担当していた川西玲子さんに「貧困の連鎖を断ち切ろう！ディーセントワークってなに」というテーマで講演をしていただきました。今の日本は、「格差社会どころか大貧困社会」ということを数々のデータで示され、その現状を打開するのが「ディーセントワーク」の実現だと訴えられました。



「ディーセントワーク」の基本の基は2つ。「期限のない仕事に期限をつけ ↑講演する川西さん
て雇用するな＝有期限雇用の制限」、もうひとつは「同じように働かせるなら、同じように扱え＝均等待遇」。

30年間、非正規労働者として働いてきた川西さんの目から見て、今の日本に必要な施策は「何度でもやり直しができる社会。」「安心して失業できる社会」「企業が社会的責任を果たしている社会」を作っていくことだと述べられ、「政権交代を実現させた国民の中に、これからの日本はどうあるべきか、の模索が始まっている。変えられるチャンスだ。」と締めくくられました。

交流では、自治労連から「厚労省の労働政策審議会で、有期雇用の問題が話し合われていく。審議委員に有期雇用の実態を知らせて行くためにも、大阪労連女性部でジャンボはがきなどの取り組みができないか。」という意見が出されました。

医労連からは、「医労連では、さまざまな分野での女性の集会在持たれ、労働は厳しいが、元気で明るい集会が多い。学習会や、気楽なお楽しみ会など、形はさまざま。先日参加した集会では、『与作』のパロディーで、『無策～。菅・菅・菅』と歌っていて、笑ってしまった。」

金融労連からは、「一人でも入れる組合に入る人が増えている。専ら派遣の問題では、みずほ銀行で7000人が直雇用になった。」という報告がされて、思わず拍手が起こりました。（この経過は次号ニュースで詳しくお知らせします）

2011年大阪労連女性部春闘討論集会

「おかしいやん！同じ仕事なのに低賃金！」

～均等待遇実現に向けた運動の現状と課題～

◆ 日 時・・・12月18日（土）14：00～◆ 場 所・・・国労会館 大会議室

講師 伊藤圭一さん（全労連調査局長） 組合員以外の方・女性部以外の方も学習会参加歓迎！